

森林と大地と人が輝くまち

しもかわ

議会だより

令和7年 No.208

5

表紙の写真 新たに子どもたちが入園しました！
(令和7年4月9日 下川町認定こども園「こどものもり」入園式)

p2~ 議会及び議員の活動評価と目標

p4~ 3月定例会議

p6~ 令和7年度予算審査

p11~ 一般質問

p14~ 1月臨時会議

p15~ 議員とフリートーク

議会及び議員の活動評価と目標を公表します



下川町議会基本条例では、議会と議員の活動の内容を公表し、議会や議員活動の活性化を図るとともに活動状況を議会白書としてまとめ、それぞれ自己評価し、その結果などを1年ごとに公表することとしています。

今回は、令和6年の目標とその評価、**令和7年(令和7年5月～令和8年4月)**の目標の一部を公表します。詳細については、今後発行する議会白書に掲載しておりますので是非ご覧ください。

令和6年目標 「議員とフリートーク」などを通じて町民の要望などの把握や抱える地域課題を議会全体で共有するとともに、その課題の解決に向けて政策提言を行う。

令和6年評価 町民の要望などの把握や抱える地域課題を議会全体で共有できた。またそれらの意見、要望について、一般質問等に繋げることができたが、政策提言書の提出までには至らなかった。

令和7年目標 「議員とフリートーク」などを通じて町民の要望や地域が抱える課題などを把握し、議会全体で情報共有するとともに、重要な課題と思われるものについてその解決に向けた政策提言を行う。議員の成り手不足解消に向けた、町民との意見交換会など具体的な取り組みを進める。



下川町議会



あびこ ひろまさ
我孫子 洋昌 議員

令和6年目標 様々な手段を通して、議会活動についての情報発信や意見交換を行い、議会に関心を持ってもらえるように取り組む。

令和6年評価 議会活動についての情報発信や意見交換は、“もう一步”といった感想を抱いてしまうものの、様々な場面で議会への関心を持ってもらえるよう努めた。

令和7年目標 議会、議員を身近な存在として感じてもらえるよう心掛けつつ、議会を代表する立場としての緊張感を自覚して議員活動に取り組む。

令和6年目標 地域の様々な課題解決に向けた、一般質問などによる政策提言と具体的な施策の実現に向けた活動を実施する。

令和6年評価 地域の課題解決に向けた活動については、一般質問などを通じて政策提言を行い、町の前向きな回答を引き出し、概ね具体的な施策に繋げることができた。

令和7年目標 親しみやすく接しやすい議員活動を通じて町民の要望や地域が抱える課題を把握し、一般質問又は直接的な町への働きかけなどにより、速やかな課題解決に繋げる。



さくらぎ まこと
桜木 誠 議員



おくざき ゆうこ
奥崎 裕子 議員

令和6年目標 議員活動の情報発信に取り組む。

令和6年評価 「何のための情報発信か」が定まっておらず、考えてばかりで実行に移せなかった。

令和7年目標 町の課題を自分事としてとらえ、一人一人がどう行動できるかを皆で考え話し合えるような環境づくりに努める。

令和6年目標 審議・審査においては、町民の視点に立った積極的な議論の参加と議決をしていく。

令和6年評価 審議・審査については、影響する当事者の心情を鑑みた判断をするよう心掛けた。

令和7年目標 総務産業常任委員会のスムーズな運営と町民や関係者がわかりやすい委員長報告になるよう努める。



おばら よしおき
小原 仁興 議員



なかた ごうのすけ
中田 豪之助 議員

令和6年目標 農業、林業を基礎とした産業の活性化、個人の暮らしの安定、後継者・担い手育成に取り組む。

令和6年評価 産業の活性化、個人の暮らしの安定、後継者・担い手育成、町民参加の基礎づくりはさらなる調査、研究を続けていく。

令和7年目標 持続的なまちづくりのために町民の意見の把握、先進事例の調査研究に努め政策提言を行う。

令和6年目標 町民との対話を重視し、町民の疑問や不満など小さな声を拾い、解決に向けた素早い行動を心掛ける。

令和6年評価 町民の疑問等の解決については、3日以内に各課に出向き、答えを聞き出し、その旨を町民に伝えアドバイスするなどある程度実践できた。

令和7年目標 町民の安心安全な生活を確保するため、調査、研究し提言、提案をしていく。



おおにし いさお
大西 功 議員



さいとう よしのぶ
斉藤 好信 議員

令和6年目標 公共施設の維持管理を含め、機能統合・整理・再編について、早期に町の方向性が示されるよう執行機関と協議していきたい。

令和6年評価 まちの公共施設等に関する方向性は、今年度示されるスケジュールとなった。今後、その在り方、将来像を執行機関及び町民と協議をしていきたい。

令和7年目標 住み慣れた地域で町民が、安心して住み続けられるような施策、そして高齢者の健康寿命の延伸と「社会参加」を後押しできる政策提案を行っていきたい。

3月定例会議 3月6日～21日

あらまし

3月定例会議は、町長の町政執行方針と教育長の教育行政執行方針演説に続き、議会提案の条例改正、町提案の新規条例や条例改正、補正予算、新年度予算などを審議しました。提案された議案のうち、1件を総務産業常任委員会に付託したほか、新年度予算を設置した予算審査特別委員会に付託し審査を行いました。

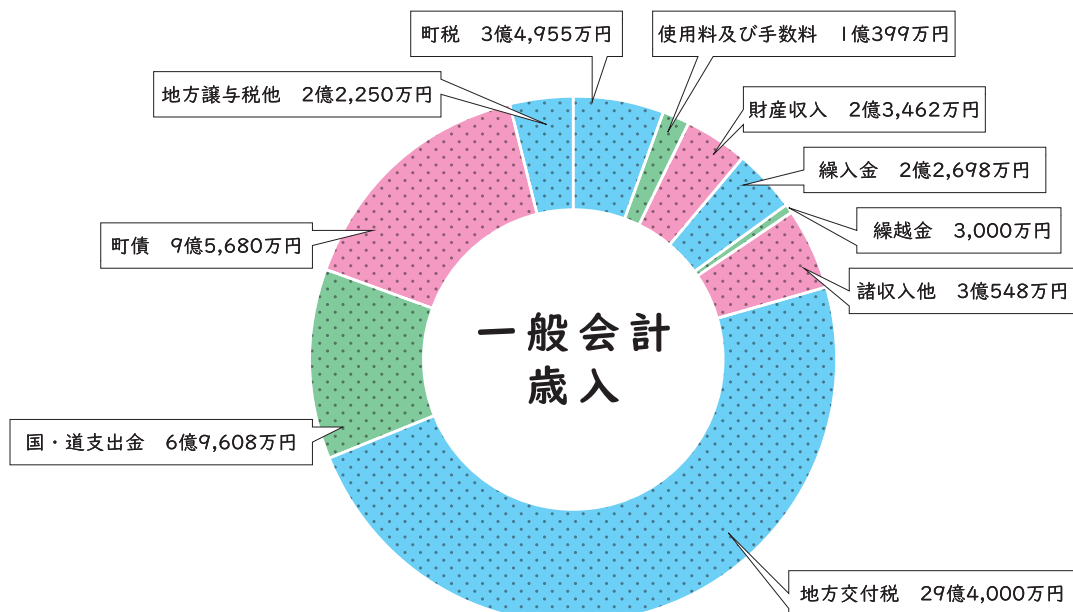
採決の結果、提出された案件は全て原案通り可決しました。

また、6人の議員が一般質問を行いました。

3月10日に町内で大規模な断水が発生したこと、行政の対応に合わせて当初の会議日程を調整し審議を進めました。

令和7年度 会計別の予算

	予算	対前年度比
一般会計	60億6,600万円	8.1%増
介護保険（保険事業勘定）	4億5,964万円	0.1%減
介護保険（サービス事業勘定）	3億4,705万円	2.9%増
国民健康保険事業	4億8,503万円	1.2%減
後期高齢者医療	7,387万円	3.1%増
下水道事業	5億948万8千円	3.1%減
簡易水道事業	3億2,129万8千円	32.6%減
病院事業	6億4,813万円	7.2%増



新年度一般会計予算は60億6,600万円

(前年度と比べて8.1%アップ)

ゴミ処理施設（一般廃棄物中間処理施設）の整備、教員住宅の建設、陶芸センターの除却、水槽付き消防ポンプ車の更新などが予算増加の要因

◆定期予防接種事業

959万円

带状疱疹の定期接種化に伴う支援

◆小中一貫教育の推進

95万円

義務教育9年間を見通した質の高い教育の実現に向けて施設分離型の小中一貫教育を開始

◆部活動支援事業

238万円

令和7年度中に部活動地域移行推進計画を策定し、部活動の地域移行に取り組む



新規・拡充事業

◆町民文化・芸術事業

436万円

母村である郡上市と郷土芸能保存会や中学生の相互交流を図るなど

◆経営戦略策定事業

簡易水道 963万円

下水道 968万円

簡易水道及び下水道の経営戦略と使用料の改定に向けた料金水準などの検討

◆行政告知端末撤去事業

992万円

行政告知端末の運用廃止に伴い、設置している機器等の撤去を行う

◆アスパラ自動選別機

導入事業 2,856万円

北はるか農業協同組合下川支所に新たに導入するアスパラ自動選別機の更新費用に対する支援



◆五味温泉施設管理事業

4,895万円

指定管理者と連携し、地域活性化企業人を活用した経営改善に取り組む

◆中間支援組織との協働・

連携事業 5,072万円

移住促進活動に加え定住促進活動の強化などを行う

見直し事業

◆総合福祉センター管理事業

1,524万円

予約がない土曜日、平日夜間を閉館

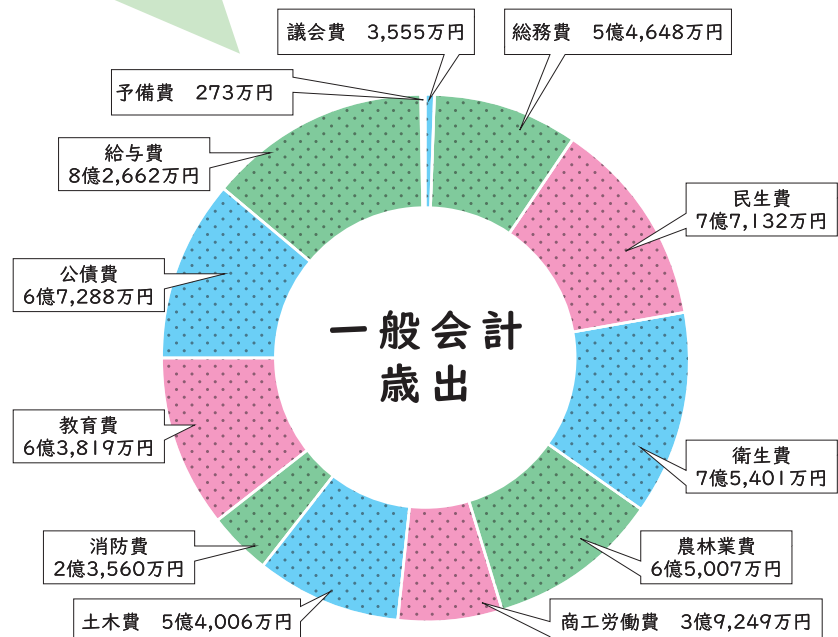
◆図書室運営事業

1,210万円

定休日の祝日、年末年始に水曜日を追加

予算審査の詳細は次ページに！

一般会計歳出





真剣に審査資料に目を通す議員

予算審査特別委員会 令和7年度各種会計等予算審査

審査：3月10日・11日・17日・18日

委員長：桜木 誠 議員
副委員長：小原 仁興 議員

令和7年度各種会計等の予算について、予算審査特別委員会審査での質疑や意見などを掲載します。

審査にあたっては、町民のニーズとの整合性や新規・拡充・見直し事業の必要性、費用対効果などに着目し、審査を行い、原案通り可決しました。

◆予算の概要

一般会計で60億6,600万円となり、27年振りに60億を超える過去2番目の予算規模となりました。

主な要因は、令和9年度に供用開始予定の名寄地区衛生施設事務組合一般廃棄物中間処理施設整備に伴う負担金3億6,184万7千円のほか、令和6年度に引き続き実施される教員住宅（1棟8戸）の整備、歯科診療所誘致事業などです。

財政を健全に運営していくために設けられている財政運営基準については毎年度、基礎的財政収支「プライマリーバランス」

（福祉や産業、公共事業など、地方債などの借金に頼らず税収でどの程度賄えているのかを示すもの）の黒字化を目指すこととし、毎年度黒字化を達成しているほか、基金及び地方債残高についても基準を満たしているとの説明を受けました。

◆委員会審査

所管課ごとに予算編成の概要などについて推進施策・事業概要書、予算書などの資料に基づき説明を受け、予算審査を行いました。

その主な審査内容は次のとおりです。

総務企画課

質問 令和6年度をもって廃止となる行政情報告知端末の回収や周知方法は、どのように行われるのか。

答 回収を行う機器や配線については、4月の公区回覧「お知らせ」の全戸配布で分かりやすく周知したい。回収する機器を

役場に持参された方には、しもりんポイントを付与し、代理での回収も可能とするなど柔軟に対応したい。

産業振興課

質問 今年の4月から産業振興基本条例が施行となり、農業・林業・商工業の各種審議会が横断的に一本化され、更に効率的で効果的な組織となっていくと考えるが、審議会の開催予定や人選は、どのようになっているのか。

答 産業振興基本条例に基づく審議会は、農業・林業・商工業部の3部会で15名を予定し、早期の開催に向けてそれぞれ要となる組織や団体などを含めて人選を考え進めている。

などの質疑答弁がありました。



所管課ごとの審査内容や委員
間協議の結果を基に次の4点に
ついて、理事者の見解と回答を
求めました。

【理事者の見解・回答】

① ふるさと納税の今後の取り 組みの方向性について

ふるさと納税の寄付金目標額
は、以前は1億円としていたが
新年度予算においては、これま
での実績に基づき過大な予算見
積もりとならないよう、5,95
0万円とした。新たなポータル
サイトの活用や観光体験型の返
礼品など、地域の魅力を活かし
た新規返礼品の開発に積極的に
取り組み、予算の積み増しに繋
がるよう努力していく。



② 地域おこし協力隊の任期後 の処遇等について

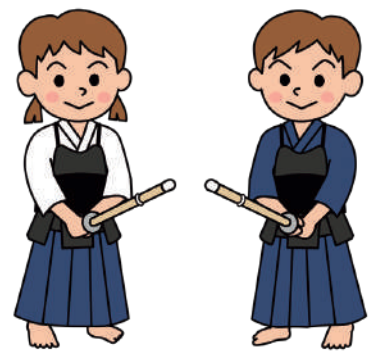
地域おこし協力隊が3年の任
期中に取得した様々な資格や得
た経験、地域との絆などが町外
に流失することは、本町にとつ
ては大きな損失であると考えて
いる。本人の意向確認も行いな
がら、任用後の定着に向けて伴
走支援していく。

③ 部活動の地域移行への進め 方について

近年は、長時間労働の是正な
ど国が推し進める「働き方改革」
によって、以前のように教員が
部活動顧問として関わっていく
事は困難となってきたので、
今後予定されている部活動の地
域移行に関して、児童・生徒や
その保護者に対し、それらの理
解に繋がるよう具体的なイメー
ジや様々な事例を提示すると
もに、令和8年度にスタートが
予定されている（仮）下川町地
域スポーツ・文化クラブへの指
導者登録が円滑に行われるよう
十分な説明を行うなど、理解が
得られるよう進めていく。

④ 公共施設の再編・統廃合等 に伴う周知と合意形成につ いて

公共施設の再編と統廃合につ
いては、該当する施設の利用者
などに対し、早期の説明と合意
形成を図りながら進めてきたが、
今後も行財政運営の効率化など
に向けてより一層、早期の周知
と説明や具体的な代替案を提示
するなど、利用者の理解を得な
がら合意形成を図り、丁寧に進
めていく。



◆ 審査意見

地域おこし協力隊員を始めと



田村町長ほか 理事者見解

する様々な人材について、在町
の際に取得した資格など、本町
において継続して活かしていく
ことができるよう寄り添った対
応と、（仮）下川町地域スポー
ツ・文化クラブの立ち上げに向
けて、関係する児童・生徒や保
護者が不安を抱くことがない対
応と協力していただく町民にも
十分な理解が得られ、円滑に部
活動の地域移行に大きく期待す
るものである。

指定管理 かねてから募集を行っていた
下川町多目的宿泊交流施設「アイキャンハウス」
の指定管理者が決まりました

指定管理者：Grate Inc（グレート インク）
指定管理の期間：令和7年4月1日から令和12年
3月31日までの5年間



総務産業常任委員会審査の様子



アイキャンハウス



委員会意見

多目的宿泊交流施設「アイキャンハウス」については、生徒との関係構築や心身ケアが伴うため、そのすべての負担を指定管理者に負わせるのではなく、状況により行政も関わることで指定管理者の持続的な事業が適う形を構築していただきたい。

条例制定

犯罪被害者等支援条例を制定しました

犯罪被害者等が受けた被害の早期回復など必要な施策の推進のため、町や事業者の役割を明確にするとともに、犯罪被害者等が安全で安心に暮らすことのできる地域社会の実現を目指します。

条例改正

図書室は「水曜日」休室になります

7月1日から町民会館図書室の休室日が変更になります。

旧) 祝日・年末年始

↓

新) 祝日・年末年始・水曜日

条例改正

ふれあい交流施設利用が有料に

4月1日から五味温泉のふれあい交流施設（バーベキューハウス）の利用が有料になります。

利用料 1 団体3,700円

補正予算 令和6年度下川町一般会計補正予算（第7号）

補正額：△1億3,153万2千円 補正後の額：56億8,219万7千円

補正要因：事業の確定等による減額など ※質疑を一部抜粋してお知らせします。

質問 各事業の人材が確保できず予算減となっているが、今後どのような対策をしていくのか。

答 募集をかけたが諸条件が折り合わず採用できなかった。地域おこし協力隊の待遇改善を図るほか、地域活性化企業人などの活用、職員は採用試験の工夫をしながら人材を確保していきたい。

質問 生活サポート地域公共交通事業の増額の要因は。

答 予約型乗り合いタクシーとコミュニティバスは、運行経費から運賃収入を引いた赤字額を、町の補助金で補填している。国の補助金が令和6年9月までで無くなり、町の負担が増えた。

質問 一の橋地域熱等管理事業の修繕箇所はどこか。暖房などの供給に支障が出なかったのか。

答 ボイラーなどのポンプの水漏れによる取り替え、ハウスの温水配管からの水漏れの修繕で、暖房自体に支障はなかった。



【YouTube】
QRコードを読み取ると
本会議の映像が見られます。



(動画時間)
251分

5：00
町政執行方針
51：15
教育行政執行方針
1：11：53
議案上程



(動画時間)
17分

3：50
委員長報告
(総務産業
常任委員会)



(動画時間)
38分

2：30
委員長報告
(予算審査
特別委員会)

3月定例会議の審議議案と議員の賛否（令和7年3月6日）①

議案の件名・概要・結果		結 果	桜 木 誠	奥 崎 裕 子	小 原 仁 興	中 田 豪 之 助	大 西 功	斉 藤 好 信	(欠 番)	我 孫 子 洋 昌	議 決 日	
町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠												
△	下川町議会会議条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	※議長は議事の進行を行うため賛否の表明はしません。賛否が同数の場合のみ表明します。	3月6日
△	下川町議会委員会条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
△	下川町議会個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町地上デジタルテレビ放送難視聴対策再放送施設の設置及び管理に関する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町犯罪被害者等支援条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例及び下川町税条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町営住宅使用条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町五味温泉の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	//	○	○	×	○	○	○	○	—		
□	下川町民会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町介護予防生活支援事業条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町公共下水道の管理等に関する条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町道路線の廃止について（一の橋公園通り線）	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町道路線の認定について（一の橋公園通り線の終点及び延長を変更して再設定）	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和6年度下川町一般会計補正予算（第7号） 補正額：△1億3,153万2千円 補正後の額：56億8,219万7千円 補正内容：事業の確定及び見込み等による減額 など	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和6年度下川町介護保険特別会計補正予算（第5号）（介護保険事業勘定） 補正額：△3,925万6千円 補正後の額：4億4,499万6千円 補正内容：執行見込みによる保険給付費の減額 など	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和6年度下川町介護保険特別会計補正予算（第5号）（介護サービス事業勘定） 補正額：△107万3千円 補正後の額：3億3,956万2千円 補正内容：執行見込みによる報酬・職員手当等の減額 など	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和6年度下川町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号） 補正額：△6,503万1千円 補正後の額：4億2,440万2千円 補正内容：執行見込みによる保険給付費の減額 など	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和6年度下川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 補正額：△19万円 補正後の額：7,205万円 補正内容：保険料の減額見込みによる事務費負担金の減額 など	//	○	○	○	○	○	○	○	—		

3月定例会議の審議議案と議員の賛否（令和7年3月6日～3月21日）②

議案の件名・概要・結果		結果	桜木誠	奥崎裕子	小原仁興	中田豪之助	大西功	斉藤好信	（欠番）	我孫子洋昌	議決日
町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠											
□	令和6年度下川町下水道事業会計補正予算（第4号） 補正額：収益的収入 500万円 補正後の額：2億3,398万9千円 補正内容：決算見込みに係る消費税及び地方消費税等還付金の増額 など 補正額：資本的収入 △523万9千円 補正後の額：2,122万5千円 資本的支出 △406万8千円 補正後の額：1億160万9千円 補正内容：事業費の確定に伴う委託料の減額 など	可決	○	○	○	○	○	○	—	※議長は議事の進行を行うため賛否の表明はしません。賛否が同数の場合のみ表明します。	3月6日
□	令和6年度下川町簡易水道事業会計補正予算（第4号） 補正額：収益的収入 1,006万9千円 補正後の額：1億9,130万1千円 収益的支出 △36万8千円 補正後の額：1億8,553万2千円 補正内容：事業費の確定に伴う保険料の減額 など 補正額：資本的収入 △2,201万8千円 補正後の額：2億724万5千円 資本的支出 △2,758万7千円 補正後の額：2億7,644万円 補正内容：事業費の確定に伴う委託料及び工事請負費の減額 など	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和6年度下川町病院事業会計補正予算（第4号） 補正額：収益的収入 △3,246万9千円 補正後の額：5億3,114万8千円 収益的支出 △172万9千円 補正後の額：5億8,932万4千円 補正内容：新型コロナワクチン定期接種の執行見込みによる医業費用の減額 など 補正額：資本的収入 172万3千円 補正後の額：2,018万2千円 補正内容：ふるさと納税等の寄附金の増額 など	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	人権擁護委員候補者の推薦について（石谷 恵美 氏）	適任	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町多目的宿泊交流施設の指定管理者の指定について （指定管理者：Grate Inc（グレート インク））	可決	○	○	○	○	○	○	—		3月13日
□	令和7年度下川町一般会計予算 予算額：60億6,600万円	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和7年度下川町介護保険特別会計予算 予算額：4億5,964万円（介護保険事業勘定） 予算額：3億4,705万円（介護サービス事業勘定）	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和7年度下川町国民健康保険事業特別会計予算 予算額：4億8,503万円	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和7年度下川町後期高齢者医療特別会計予算 予算額：7,387万円	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和7年度下川町下水道事業会計予算 予算額：収益的収入 2億4,209万1千円 収益的支出 2億4,344万9千円 資本的収入 1億9,542万3千円 資本的支出 2億6,603万9千円	〃	○	○	○	○	○	○	—		3月21日
□	令和7年度下川町簡易水道事業会計予算 予算額：収益的収入 1億328万3千円 収益的支出 2億7,873万4千円 資本的収入 4,088万7千円 資本的支出 4,256万4千円	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和7年度下川町病院事業会計予算 予算額：収益的収入 5億7,283万2千円 収益的支出 6億1,055万5千円 資本的収入 3,231万8千円 資本的支出 3,757万5千円	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	財産の無償譲渡について（町が所有している町内全域の光回線網等の施設）	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	議会の議決に付すべき財産の処分について（「美桑が丘」の土地の処分）	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和6年度下川町一般会計補正予算（第8号） 補正額：164万6千円 補正後の額：56億8,384万3千円 補正内容：「美桑が丘」の土地売り払いに係るもの	〃	○	○	○	○	○	○	—		



なかた ごうのすけ
中田 豪之助 議員

大規模な林野火災を想定した 消防訓練を行う考えは



(動画時間)
37分

町長：上川北部消防事務組合へ、大規模な
林野火災を想定した訓練を提案したい

質問 岩手県大船渡市の山林火災は、3月6日の時点で2千9百ヘクタールを焼失し、平成以来日本最大の山林火災だったそうです。山火事は風の強さや、空気の乾燥で広がるので、怖いものです。本町も3月から5月は、風も強くなり注意が必要な時期です。山林火災では水利が重要ですが、そのための防火池があるそうですが、貯水量の確認等メンテナンスはどのように行っていますか。

町長 毎年雪解け後に、町職員により貯水状況を確認し、不具合があれば対応を行っており、また、草刈り等についても、毎年実施しています。

再質問 今、大規模な林野火災を想定した消防訓練を行うべきと考えます。町長が、上川北部消防事務組合の副管理者として提案してはいかがでしょうか。

町長 下川消防団の春季の演習で、林野火災を想定した訓練を実施しています。また、担当職員、消防職員による林野火災の空中消火資機材の操作訓練への参加のほか消防署と机上訓練を行っています。今後、大規模な林野火災を想定した訓練についても提案していきます。

しもかわ財団の運営強化の 目指すところは



(動画時間)
58分

副町長：町民同士が知り合う機会の創出と人材雇用の仕組みづくりの構築を図る



おばら よしお
小原 仁興 議員

質問 しもかわ財団発足から現在までの取り組みによって組織が強化された部分、発足前と大きく変化した部分について伺います。

町長 今年度は、しもかわ財団が発足して実質初年度のため既存の移住定住促進事業を継続しつつ、法人組織としての活動方針や体制づくり、活動内容の検討、関係機関との関係構築などに取り組み、「住みたい、住み続けたい町づくり」のため、既存の「移住促進機能」に加えて「定住促進機能の強化」をします。

再質問 今年度の町政執行方針でしもかわ財団の運営強化が盛り込まれていましたが、具体的な強化を目指す部分を伺います。

副町長 令和7年度の活動方針として移住については継続としながら定住に向けて考えているところです。新規事業としては町民同士が知り合う機会を創出します。もう一つは総合窓口機能の充実により問題解決能力の強化を図ります。定住ニーズの調査により、施策の立案、家計や地域経済の循環を把握しながら、地域にあった人材雇用の仕組みづくりを構築していきます。

その他の質問事項

▶ 上下水道事業について

下川商業高校の存続のため 学習支援をしては



(動画時間)
22分



おくざき ゆうこ
奥崎 裕子 議員

町長：職業科と普通科の違いを考慮したうえでの判断になる

質問

町は下川商業高校生徒確保のために、入学準備金などの経済的支援を行っています。生徒の学力アップにつながる学習支援などの新たな支援策について、どのように考えていますか。

教育長

学習支援は下川社会教育センターが役割を担っています。商業高校の生徒ではありませんが、2名が利用しています。

再質問

高校存続のための取り組みとして、足寄町では公設民営の受講料無料の塾を開講しています。中学の復習から難関大学受験対策まで個々のニーズに応じた学習ができ、無料です。これは足寄高校存続に向けて行った保護者へのアンケート調査で、地元高校に学力向上を望む回答が多かったからです。下川町でも経済的な支援だけでなく、学習支援も必要だと思いますがどのように考えていますか。

町長

下川は商業高校なので、商業の検定はできるだけ取っていき、基礎科目は基礎的な学力をつける過程です。普通科と商業科の勉強の中身が違うので、そこも考慮したうえでの判断になると思います。

除却予定の公共施設の有効活用をさらに進めるべき



(動画時間)
51分



さくらぎ まこと
桜木 誠 議員

町長：施設の有効利用などの観点からも広く周知し、積極的に譲渡を進める

その他の質問事項

▶ 民間団体などの活動を支援する方策について

質問

公共施設の再編・統廃合において、除却対象となった建物などの譲渡を促すことが、行財政運営の効率化や財源の確保、民間団体の自主的な活動の助長に繋がると考えますが、より一層積極的にPRしていくという考えはありますか。

町長

除却予定となった公共施設の譲渡については、利用者や施設がある公区などへの意向確認、担当課での利用の検討なども行い、利用・譲渡先が無い場合に広く周知しながら進めたいと思います。

再質問

除却対象となった、公共施設の有効利用の事例として近隣の中川町で除却予定の町営住宅(教員住宅)を企業と連携し、地域おこし協力隊制度を活用して宿泊施設に改修するという取り組みが進められています。このような先進事例を参考に取り組みを進める考えはありますか。

町長

新年度は、要望や需要があると感じているペット対応型住宅の調査なども進めますので、中川町のような事例を調査・研究し、本町の実情に合った課題解決を進めていきたいと考えています。



さいとう よしのぶ
齊藤 好信 議員

人口減少を見据えた「町」の将来像をどう描いているのか



(動画時間)
53分

町長：利便性を考慮し、コンパクトにまとめ中心部に集めることが考えられる

その他の質問事項

- ▶ 高齢者の社会参加を促す取り組みについて
- ▶ 質の高い教育の実現について

質問

現存する公共施設を今後も維持することはできません。将来の公共施設の配置を含めて町長はどのようなビジョン、構想を描いていますか。

町長

人口減少を踏まえ、できるだけコンパクトに中心部に集めることで、交通の便、防災、エネルギーも含めて、利便性が向上し生活できることが重要と考えています。

再質問

公共施設の整備に関しては次世代に過度な負担をかけないという課題も出てきます。一方で現状としては大きなところから手を付けていかなければならないと思います。町長の考えを伺います。

町長

公共施設の中で役場・消防庁舎、公民館も旧耐震の施設です。こうした老朽化に伴う再編・統廃合が求められていると認識しています。公共施設全体の現状を把握し見通しを立て、できることから手を付けて、まずは議論のテーブルに乗せることからやっていきます。いずれにしても、次の世代に先送りするということは、私はしたくないと考えています。

民家の間口除雪従事者減少の課題と解決は



(動画時間)
23分

町長：支援策を調査研究し判断したい



おおのし いさお
大西 功 議員

質問

支援が必要な民家の間口除雪は町内建設業者や個人で請け負いますが依頼があっても出来る範囲に限りがあります。今後自力除雪が困難な高齢者が増え依頼件数も増えていく反面、除雪従事者が高齢化し減少していきます。小型のタイヤショベルを購入するにも高額で補助金制度もないため町が購入して新たに従事してくれる個人に対して安価でリースしてくれる制度を新設してはいかがでしょうか。

町長

高齢を理由に間口除雪を辞められた担い手もいます。依頼場所も点在し、すべて受けられるか不安の声もあります。実態把握の上、今後の方策を考えていかなければなりません。色々なハードルはありますが、たとえばリース会社で借りて従事する方に対して町が補助する方法もあるかもしれません。支援策を調査研究し判断したいと思っています。



1月に開催した臨時会議に提案された案件は全て原案通り可決しました。
その一部を掲載します。

1月臨時会議 1月10日

◆下川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

昨年8月の国家公務員の給与等の改正を内容とする人事院勧告に伴う改正です。

今回の改正内容は、給料月額で民間企業の平均給与額との格差を埋めるため、民間企業における初任給の動向などを踏まえ、若年層に重点を置きつつ全ての職員を対象として人事院勧告に準拠し、給与等を引き上げるものです。

主な内容は、行政職で平均3.3%の給料月額引き上げのほか、期末手当及び勤勉手当でそれぞれ0.05月分引き上げ、改正前の4.5月分を4.6月分などとするものです。



(動画時間) 50分
12:41 議案上程

【人事院勧告って何？】

国家公務員の人事を管理する中立的な立場にある第三者機関の人事院が、国家公務員の給与や勤務条件などの決定について、国会や内閣に対して勧告する制度です。



1月臨時会議の審議議案と議員の賛否（令和7年1月10日）

議案の件名・概要・結果		結 果	桜 木 誠	奥 崎 裕 子	小 原 仁 興	中 田 豪 之 助	大 西 功	斉 藤 好 信	(欠 番)	我 孫 子 洋 昌	議 決 日
町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠											
△	下川町議会議員の議員報酬額及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可 決	○	○	○	○	○	○	—	※議長は議事の進行を行うため賛否の表明はしません。賛否が同数の場合のみ表明します。	1月10日
□	下川町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和6年度下川町一般会計補正予算（第6号） 補正額：1億48万3千円 補正後の額：58億1,372万9千円 補正内容：全世帯に物価高騰対策支援券（商品券）を支給するための経費の増額 など	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和6年度下川町介護保険特別会計補正予算（第4号）（介護保険事業勘定） 補正額：70万1千円 補正後の額：4億8,425万2千円 補正内容：人事院勧告に伴う人件費の増額 など	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和6年度下川町介護保険特別会計補正予算（第4号）（介護保険サービス勘定） 補正額：480万5千円 補正後の額：3億4,063万5千円 補正内容：人事院勧告に伴う人件費の増額 など	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和6年度下川町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） 補正額：47万2千円 補正後の額：4億8,943万3千円 補正内容：人事院勧告に伴う人件費の増額 など	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和6年度下川町下水道事業会計補正予算（第3号） 補正額：収益的支出 △21万3千円 補正後の額：2億1,966万3千円 補正内容：人事院勧告に伴う人件費の増額及び特別損失の減額 など	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和6年度下川町簡易水道事業会計補正予算（第3号） 補正額：収益的支出 106万7千円 補正後の額：1億8,590万円 補正内容：人事院勧告に伴う人件費の増額 など	〃	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和6年度下川町病院事業会計補正予算（第3号） 補正額：収益的支出 △481万5千円 補正後の額：5億9,105万3千円 補正内容：異動に伴う減額及び人事院勧告に伴う人件費の増額 など	〃	○	○	○	○	○	○	—		

議員と

フリートーク

令和7年2月17日、議員とフリートークをコモレビで開催しました。

これまでに出了た話題の項目別一覧を配布し、議員とフリートークで多かつた話題や、一般質問で取り上げた話題などを報告しました。

写真はその時の様子です。

ここでは、話題に上がった疑問や要望の一部を掲載します。



3月の一般質問で取り上げました

ふるさと納税による指定寄付など、民間の活力を後押しする制度を充実させては？

自主的に活動する団体の資金確保に行政が直接かわることは難しいが、団体と共同して町の事業を推進するなど、その手法や可能性について調査研究を進めるとの町長の答弁がありました。

その他の話題

- ・健康増進や地球温暖化対策などを目的とした「自転車活用推進計画」を策定しては？
- ・行政と住民の接点となる機会を設けてほしい
- ・植栽柵に雑草が生えないよう、シートを引くなどの工法をしては？
- ・ハイヤーが夜間に使えないので、緊急時に困る
- ・空き家などの物件が適正に評価されているのか疑問

など

いただいた意見は議会で共有し対応を協議しています。
令和6年度の議員とフリートークで出了た話題一覧は、議会白書に掲載予定です。

議会活動日誌 12月21日から3月21日までの議会の活動記録です (12月定例会議閉会後から3月定例会議閉会まで)

- 12月23日 下川中学校3年生 まちづくり提言
議場発表会
- 1月10日 第16回議会運営委員会
- 1月21日 第6回 議会だより編集委員会
- 2月12日 第17回議会運営委員会
第10回議会広聴広報特別委員会
- 2月17日 議員とフリートーク
- 2月19日 議会と民生委員児童委員協議会との
懇談会
- 2月26日 下川小学校6年生 総合的な学習の
時間発表会
第6回全員協議会
- 2月27日 第18回議会運営委員会
第11回議会広聴広報特別委員会
- 3月6日 3月定例会議(初日)
- 3月7日 第19回議会運営委員会
- 3月10日 予算審査特別委員会(初日)
- 3月11日 予算審査特別委員会(2日目)
第20回議会運営委員会
- 3月17日 予算審査特別委員会(3日目)
- 3月18日 一般質問
予算審査特別委員会(最終日)
- 3月21日 3月定例会議(最終日)

今後の定例会議予定 6月定例会議

6月17日(火) 初日

18日(水) 一般質問

20日(金) 最終日 ※日程が変更となる場合があります



民生委員児童委員協議会との懇談の様子
(2月19日)

民生委員児童委員協議会と議会が「高齢者福祉」「児童福祉」「郊外の暮らしをより良くするには」というテーマで話し合いを行いました。



発表する中学生(12月23日)



講評を聞く小学生(2月26日)

編集後記

下川町議会は通年議会となり5月1日が令和7年度のスタートです。今月の議会だよりでは昨年の目標とそれを達成できたかどうか(評価)そして今年の目標を書きました。初心を思い出して3年目の議員活動に取り組みたいと思います。

この原稿を書いているときは米トラップ大統領が出す関税が猫の目のように変わり、世界が振り回されていました。この議会だよりが出る頃には、そんなこともあったね、でも万里長城祭、天気になるといいねーなどと平和に語っていたものです。(中田)



議会広聴広報特別委員会
(議会だより編集委員会)

委員長	おく奥	ざき崎	ゆう裕	こ子
副委員長	なか中	た田	ごう豪	のすけ之助
委員	さくら桜	ぎ木		まこと誠